

「新しい力強い鹿児島」の実現に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、本県は、人口減少や少子高齢化が進行し、一人当たりの県民所得も、全国に比べて、依然低位に推移するなど、厳しい状況におかれています。

こうした中、私は、昨年7月の知事就任以来、県民目線による県政推進のため、「聞こう！語ろう！対話の県政」をスローガンに、「知事と語ろう車座対話」をはじめとした様々な機会で、県民の皆様のお話を直接伺ってまいりました。

また、県政に女性の視点を一層反映させるため、新たな取り組みとして、鹿児島県初の女性副知事を登用し、子育てと仕事の両立など、子育て支援の取り組みを進めているほか、庁内職員による鹿児島島の活性化委員会を設け、鹿児島をどのようにして活性化させるか議論し、観光振興策や農林水産物の輸出促進策、地域の活性化策など、アイデアの早期実現に向けて具体的に検討を始めているところです。

併せて、川内原発に係る防災対策の充実・強化についても、原発に頼らない社会づくりに向けた歩みを少しずつ進めるとともに、本県の地域特性を生かした再生可能エネルギーの更なる普及拡大にも努めてまいります。

さて、昨年は、熊本地震をはじめ、県内では台風第16号により、記録的な大雨や暴風による河川の氾濫やがけ崩れなど大きな被害を受け、自然の脅威と不断の防災対策の重要性に思いを致した年でした。

一方、明るい話題としては、平成30年の明治維新150周年の節目を迎えるに当たり、「篤姫」以来10年ぶりとなるNHK大河ドラマ「西郷どん」が、平成30年に放映されることが決定しました。国においても「明治150年」に向けた関連施策を検討していくことが決まったほか、本県でも記念シンポジウムや記念パレードなどを実施し、機運の醸成と県内外への情報発信を図ったところ です。

明治維新150周年は、鹿児島をより元気にする大きなチャンスであり、幕末の混乱期にあつて未知の時代を切り拓いてきた先人たちの志と行動力に学び、皆様とともに総力を結集して、今、鹿児島が直面する課題を克服できるような力で取り組むとともに、この効果を最大限に生かせるよう、県民の皆様と一緒に、盛り上げていきたいと考えております。

また、奄美群島が国立公園として新たに指定されるために必要な手続きが始まり、平成30年夏の世界自然遺産登録に向けて、大きく前進するものと考えております。

本県には、歴史・文化をはじめ、豊かな農・畜・水産資源や観光資源など、一流の素材がたくさんあります。本年も、鹿児島県一流の素材を売り込み、国内外にPRすることで、県勢が発展し、県民生活がよくなるよう、トップセールスと本県のブランド力向上に積極的に取り組んでまいります。そして、「鹿児島に生まれてよかった、鹿児島に住んでよかった」と思える鹿児島を目指してまいります。

引き続き、時代の変化に的確に対応しながら、県民の皆様にお示ししたマニフェスト「鹿児島を日本一にする6つのお約束」に基づき、観光、農林水産業、医療・福祉、教育、産業・雇用、防災の各分野で日本一を目指し、それぞれの諸課題に取り組み、新しい力強い鹿児島の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が幸せと希望に満ちた年となりますよう心から祈念いたします。



平成二十九年 元旦

鹿児島県知事 三反園 訓